

耐衝撃性 硬質塩化ビニル管 HIVP (JIS K 6742) (JWWA K 129)	1.耐食性に優れている。 2.重量が軽く、施工性がよい。 3.加工性がよい。 4.内面粗度が変化しない。	1.低温時で耐衝撃性が低下する。 2.特定の有機溶剤及び熱、紫外線に弱い。 3.表面に傷がつくと強度が低下する。 4.継手によっては、異形管防護が必要。
--	---	---

3.4 給水管の管種及び口径と使用場所

給水管の管種、口径及び使用場所は、原則として次の表によるものとする。

表 3-4

管種類	施工場所	区分				
		埋設			地上配管	
		道路内	宅地内	屋内	道路敷設	宅内及び 屋外立上
鑄鉄管 (DIP)		φ 75 以上				
配水用ポリエチレン管 (HPPE)		φ 50, φ 75, φ 100			△	
ビニルライニング鋼管 (SGP-VA) 粉体ライニング鋼管 (SGP-PA)		×			防食テープ巻	
ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) (SGP-VD) 粉体ライニング鋼管 (SGP-PB) (SGP-PD) ステンレス鋼管 (SUS)	20A,25A 40A,50A	20A,25A 40A,50A,80A 100A,150A				
水道用ポリエチレン 軟質1種二層管 (PE)	φ 20, φ 25 φ 40, φ 50	φ 13, φ 20 φ 25 φ 40, φ 50 (φ 13 は個別配管に 限定)	φ 20, φ 25 φ 40, φ 50 (鋼管のさ や管使用)	φ 13, φ 20 φ 25 φ 40, φ 50 (φ 13 は個別配管に 限定)		
架橋ポリエチレン管 (XPE) ポリブデン管 (PB)	×	φ 13, φ 16, φ 20 (φ 13 φ 16 は個別配管に 限定、埋設はさや管使用)	×	φ 13, φ 16, φ 20 (φ 13, φ 16 は個別 配管に限定)		
耐衝撃性硬質 塩化ビニル管 (HIVP)	×	φ 20, φ 25 φ 40, φ 50, φ 75 (メーター2次側配管限る)	×			
備考	道路管理者の占用条件がある場合は、この限りでない。					

注:1 道路内に配管する鑄鉄管・鋼管については、ポリエチレンスリーブを装着し粘着テープで固定する。

2 道路内に配管する小口径(20mm~50mm)管には、粘着表示テープを管なりに貼り付けること